

なんてん

2014.03  
第 84 号

発行元：社会福祉法人 県央福祉会 横浜市中山みどり園  
226-0011 横浜市緑区中山町 395-2  
Tel 045-931-8611 Fax 045-931-8626  
発行責任者 熊井さとみ



## 一年間の思い出 一年間の思い出

中山みどり園では、今年度も様々な取り組みをしてきました！利用者さんにとってどんな1年になったのでしょうか。活動室ごとに振り返ってもらいました。

### 活動室 1

今年は例年よりも『季節感』を味わって頂くことを念頭に活動を行いました。調理や創作などでは旬の物や旬の行事を行うことで四季を感じてもらえるように工夫しました。調理については、旬な食材を用いて行事に関する料理を作り、皆でワイワイと賑やかに喫茶を行いました。皆さんとても美味しそうに食べていました。創作



については、季節に合った

作品作りとして春にはひな人形、夏には七夕や夏祭りの飾り付け、秋には十五夜、冬には鬼のお面など四季折々の物を制作しました。また、全体外出や園外宿泊訓練での写真を使用した掲示板等、利用者さんはもちろん職員も一緒に夢中になり、楽しめるような活動を取り組んできました。今後も、皆でアイデアを出しながら、より楽しめるような活動を

を皆で作って上げていきたいと思います。(比嘉渡)



### 活動室 2

今年度の活動室 2 では、色々な活動や行事を「肌で感じてもらう」ことを念頭に職員間で支援してきました。夏祭りや新年会などの行事はもちろん、普段の活動でも利用者さんが主体的に参加し、五感で感じてもらうよう取り組んできました。なかでも、春から秋に

かけて行ってきたトランポリンや音楽での楽器演奏や椅子取りゲーム等、利用者さん達も笑顔で取り組んでいる様子が印象的でした。



行事では園外宿泊や新年会、夏祭りはもちろん、全体外出にも皆さん楽しく出かけられ、「また行きたい!!」と笑顔で話す利用者さんもいました。来年度以降も利用者さんが主体になって、楽しみながら五感で感じる活動を継続していけたらと思っています。(野中隆宏)



### 活動室 3

活動室 3 では、今年度から利用者さんが全員“お当番”を週替わりで担当しています。給食の配膳をする“給食当番”、給食の時に使ったエプロンを洗濯する“洗濯当番”・・・などなど取り組み始めました。

毎朝、活動室でやっている『朝の会』で当番を確認すると、特に週始めは「私は〇〇だ」



「今週は何もないや」という会話が交わされています。うっかり忘れてしまう人がいれば、張り切りすぎてかなり前から取り組んでしまいそうになる人もいますが、皆さん責任を持って取り組んでいます。これからも“お当番”という役割を持つことを通じて、責任感を持つこと、達成感を味わうことを体験できたらと考えています。(池谷明莉)

### 活動室 4



早いもので、今年度も終わりが近付いてきました。

今年度、活動室 4 では、出来るだけ集団を意識して過ごす時間を持てるよう考えてきました。人数の少ない活動室であることで、個々のペースを尊重した過ごし方が出来るメリットもありますが、その分、集団への参加機会が少なくなりがちになってしまう部分も出てきてしまいます。そのため、他活動室と合同で活動を行ったり、活動室全体で活動を行ったりすることで、集団への参加機会を設けました。活動室の皆さんも、普段と違った雰囲気を楽しそうに過ごしていることが多く、笑顔が多く見られています。来年度も活動室の皆さんが落ち着いて過ごせるよう、個別の過ごし方を尊重していくとともに、順番を待ったり周囲のペースに合わせたりといった機会も同様に大切にしていきたいと思っています。(西尾瑞希)



# 作業報告

今年度みどり園の作業で使ったペットキャップの合計個数を発表します!!

2013年4月1日からみどり園で取り扱ったペットキャップの数は、なんと460,300個です(平成26年2月17日現在)。ペットキャップをひとつずつ積み上げていくと、(ペットキャップの高さは一般的に1.4センチなので)約644,420メートルになります。横浜ランドマークタワー(296.33m)の約2175本分、富士山(3,776m)の約171倍、東京スカイツリー(134m)の約4809本分、桜島(1,117m)の約577倍の高さとなります。また、距離換算にすると日本からインドやオーストラリアまでの距離となります。



ペットキャップは利用者さんの御家族、みどり園の近所のご家庭、学校、近隣の施設等からのご好意で頂くことが多く、今年度も、たくさんのペットキャップが集まり



ました!いつもご協力ありがとうございます。今年度も皆様のご協力でたくさんの作業を行うことができました。本当にありがとうございました!!

## ここでふれいく クイズ!

問題Ⅰ: スキーのジャンプ競技のルールでよく耳にする“K点”ではK点の意味は何でしょう?

- ①ジャンプ台ごとの飛行距離の基準      ②これ以上跳ぶと危険とされる極限  
③ジャンプ台ごとの平均飛行距離の目安      ④これ以上跳ぶと点数が上がる基準



問題Ⅱ: ひな人形のお雛様、お内裏様に下に赤い布を敷くのは何故でしょうか?

- ①華やかに見せるため      ②伝統的に決まっているため  
③魔除けのため      ④最初に作った人が定めたため





### 3月のスケジュール



月	火	水	木	金	土	日
				園内宿泊 → →	1 開所日 → →	2
3	4	5	6 園内宿泊 → →	7 → →	8	9 
10	11	12	13	14	15 開所日	16
17	18	19	20	21 春分の日	22	23
24 31	25 	26	27	28	29	30

### ~~~~~クイズの正解~~~~~

#### 問題Ⅰ：②

K点とは、ジャンプ競技でその先まで飛ぶと危険とされる「極限点」(ドイツ語で *Kritischer Punkt*) のことです。着地点付近で、雪面の傾斜が平らになり始める地点を指します。K点までの距離はジャンプ台の種類によって異なり、ノーマルヒルで約 90 m、ラージヒルで約 120 m です。世界の一流選手が集うオリンピックでは、K点を越えることが上位進出の目安となります。ちなみに、近年 W 杯ではノーマルヒルは行われず、ラージヒルのみ行われているようです。

#### 問題Ⅱ：③

ひな祭りは元々中国の風習で、ひな祭りは、古くは「上巳の節句」「弥生の節句」などの呼び名があり、五節句(「人日」「上巳」「端午」「七夕」「重陽」)の一つにあたります。女の子がいる家ではこの時期にひな人形を飾り、白酒や桃の花を供えてお祝いします。

昔の中国では赤は魔除けの色でした。病気や地震などの悪いことが起こらないようにといった魔除けの意味が込められています。

#### 編集後記

今月は大雪が降ることが度々ありましたが、その次の日は気温が上がって春のような陽気になるなど、気温の変化が激しい月だったかと思いますが、皆様は体調を崩さずに過ごせたでしょうか？

私は夕食の鍋を食べて寒さを乗り切っていました。今年のブームは途中で醤油味からカレー味に変わる『変わり鍋』だそうです。まだまだ寒い日も続くかと思いますが、風邪などひかないよう気をつけていきたいと思っています。  
(野中隆宏)